

# WWWを利用したイメージアンケートシステム

5H-5

澤野貴 酒井順一 高橋俊二 常澤邦幸 羽生田浩教 伊與田光宏

千葉工業大学

## 1.はじめに

従来のアンケートでは、人間が人間に対しアンケートを行い、結果をコンピュータに処理をさせるという手間のかかる方法を様々な問題からとらざるを得なかった。このような情報収集分野でも、電子メール、電子掲示板等の利用が試みられている。ネットワークを用いることにより人件費、時間制約等の問題が解消可能であり大変有効な手段である。

イメージに関するアンケートは、マーケティング調査、個人情報収集等で盛んに行われているが、回答者のイメージを情報収集者に正確に伝えるのは大変困難である。また、コンピュータ処理する場合においても処理が困難となり現状のイメージアンケート環境はあまり良くないといえる。

本研究では個人のイメージ情報を可能な限り正確に収集するためのインターフェイス、ネットワーク環境、イメージ情報データベースの構築、また、プロトタイプ動作より考察、検討を行う。

## 2.システム提案

本研究では、視覚的イメージ情報に着目し収集を行う。情報収集方法は選択、テキスト入力方式の中間方式をとり、回答者がアンケートに対しイメージできる事柄について、回答者自身で回答作成を行う。回答インターフェイスは、Java言語を用いて作成する。図1にシステム構成図を示す。

設問に対する、回答選択肢をブラウザ上に用意し、回答者がイメージに合わせブラウザ上にプロットすることにより、座標情報をデータとして、サーバ上に構築したデータベースに格納する。回答インターフェイスは、Java言語を用いて作成する。また、アンケート参加意識、興味を回答者に与えるため結果リアルタイム

フィードバック機能を付加した。

## 3.プロトタイプ

インターネットのを用いる特徴の一つとして、広範囲な調査地域を対象とすることが可能である。そこで、居住地域における公園デザインの違いと題して、情報収集を行った。調査項目として、性別、居住地域、年齢、公園設計とした。図2に実行画面例を示す。

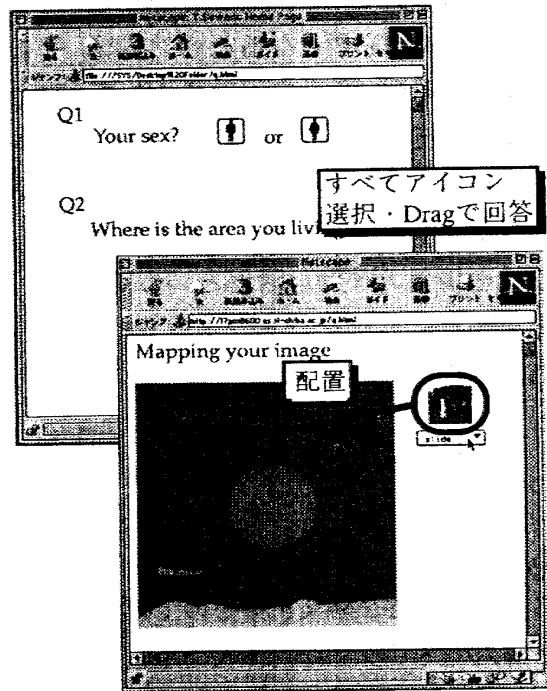


図2 実行画面例

## 4.おわりに

本研究ではイメージ情報に着目し、システム構築、テスト運用を行った。ネットワークを利用し以下の効果があった。

- ・ イメージを回答者に作成させることにより、回答者自身に回答意欲を持たせる
  - ・ 結果、途中経過を表示
  - ・ 回答の手間を省く
  - ・ 表現方法が豊かであり、出題者の意図にとらわれにくい
  - ・ Javaを用いたことにより変更、拡張が容易
- しかし、次のような課題も見いだされた。
- ・ イメージ情報収集においては、既存のものよりは有効であるが、図形の色の選択肢が狭いと回答者のイメージの反映度が低下
  - ・ アンケート調査において、年齢、性別、地域等の条件が付加された場合の対応
  - ・ アンケート実施の告知方法

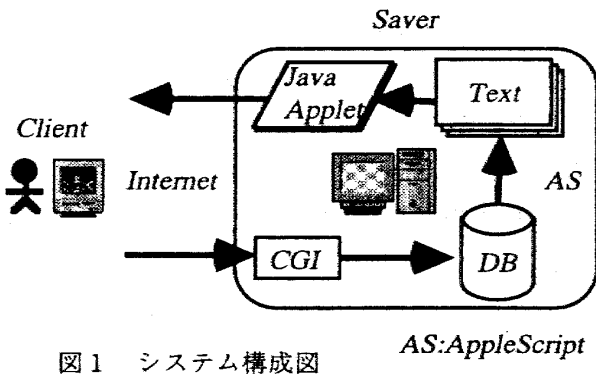


図1 システム構成図

Image Questionsry System on WWW  
 Takashi Sawano, Jurichi Sakai, Syunji Sakai,  
 Kuniyuki Tokizawa, Hironori Hanyuda,  
 Mitsuhiro Iyoda  
 Chiba Institute of Technology